

総合「田中正造学習」(5年生)

1. 事前学習【10月19日】

ぼくたちは、10月31日に足尾銅山に行って、木を植えてきます。今日は、その事前学習で、足尾銅山足尾銅山が今どのような状態なのか、どうして足尾銅山に木を植えるのか、などについて勉強しました。教えてくれたのは、田中正造記念館の針ヶ谷さんと島野さんです。お二人とも、植樹の時にも一緒に行ってくれるそうです。



足尾の山は、足尾銅山から出る煙やたくさん木を切ったことで、荒れ果ててしまったんだそうです。今でもあまり木が生えていないそうです。また、「足尾銅山観光」で見学する坑道に入ると、どれだけたくさんの木が使われているのかがよくわかるそうです。どんな様子なのか、早く見たいです。

2. 植樹体験 & 「足尾銅山観光」見学【10月31日】



紅葉が始まったばかりの秋晴れの日。ぼくたちは、足尾の美しい森の入り口で、木の大切さについてお話を聞きました。…この美しい森、なんとボランティアのみなさんが長い月日をかけて植樹してできた森なんだそうです。すごい！

こちらに見えている山も、植樹の成果なんだそうです。もう、足尾の山は緑がたくさんあるんですね。…とこの写真では感じてしまいますが、本当は…



まだまだこれからのところがたくさんありました。たくさんの苗木が植えてありますが、森になるには何年かかることやら…。



こんな急な斜面で植樹しました。結構大きな石がごろごろしているところだったので、大変でした。



本当にこんなところで木は育つのかなあ??とってしまうほどの場所でした。



最後に、記念写真。ぼくたちが植えた場所には「みのりのもり」と名前を付けました。名前のおりにたくさんの木の実を付けて、山の動物たちにご飯をあげられるといいな。



植樹の後は、お楽しみのお弁当タイム。ここに昔、松木村という村があったんだって。今はだれも住んでない。今住んでいるのは鹿やイノシシなどの野生の動物だけだって。私たちも野性に帰って、幸せ気分！たまには外で給食食べたいな。



お弁当の後は、「足尾銅山観光」見学。坑道の天井を支えるためにたくさんの木が使われていました。ここだけでこんなに木を使っているなんて、どんだけ木を切ったんだろう。これじゃあ、足尾の山の木がなくなるわけだよ。